

能代産廃センター処分場ボーリング調査結果について

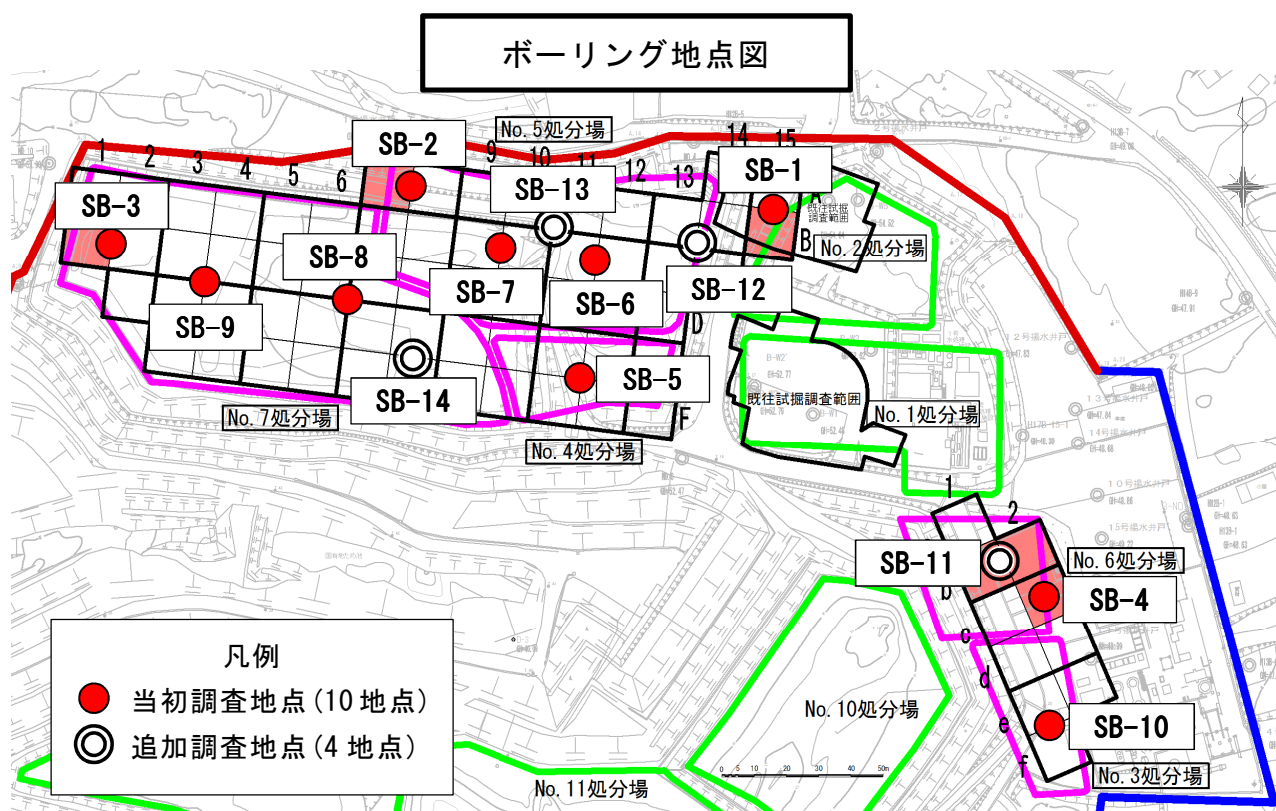
平成 26 年 6 月
秋田県環境整備課

1 調査期間（ボーリング実施期間）

平成 25 年 12 月 5 日～平成 26 年 1 月 29 日

2 調査地点

予備調査として実施した土壌ガス調査により V O C（揮発性有機化合物）ガスが検出された箇所及び各処分場の中央部等 10 地点を選定したほか、これらの調査結果や地元住民の要望等を踏まえ、さらに 4 地点を追加し、合計 14 地点で自然地盤を確認するまでボーリングを実施した。



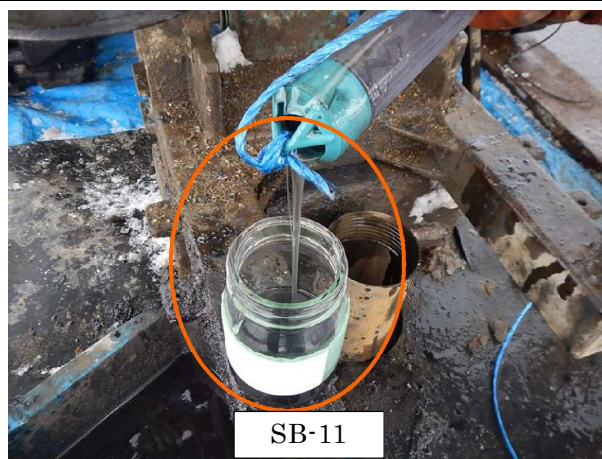
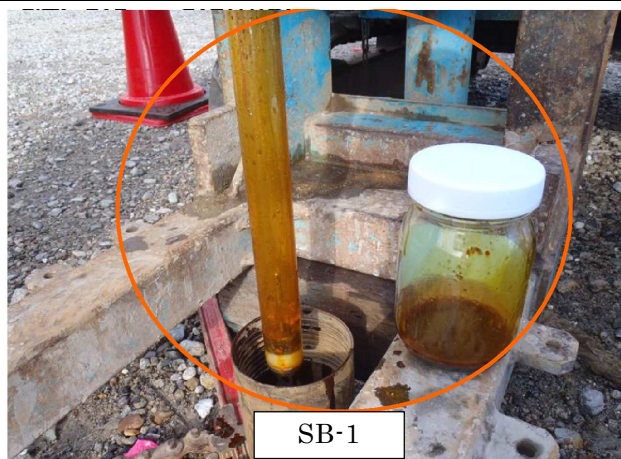
3 調査結果

(1) 埋立廃棄物について

- 各地点とも、埋め立てられている主な廃棄物は、木くず、廃プラスチック、金属くず等であったが、全ての地点の廃棄物からVOCが検出された。
- No. 2 処分場の SB-1 及び No. 6 処分場の SB-11 の 2 地点では、容器に入った油状物質が確認された。

【参考 1】油状物質分析結果概要

地点 番号	性状	主成分	主なVOC濃度 (mg/L)							
			トリクロ エチレン	テトラ クロ エチレン	ジクロロ メタン	1,2- ジクロロ エタン	シス -1,2- ジクロロ エチレン	1,1,1- トリクロロ エタン	ベン ゼン	1,4-ジ オキサン
SB-1	オレンジ色 低粘性	トルエン	1.3	1.4	23	18	2.5	0.43	180	2.4
SB-11	無色透明 高粘性	ベンジル アルコール	<0.03	0.03	0.14	0.05	<0.04	<0.3	0.19	<0.05



- No. 5 処分場の SB-2 では、掘削中のボーリングコアチューブにタール状物質の付着が見られた。

(2) 保有水について

- No. 3 から No. 7 処分場では、保有水が存在していることを確認した。
- 一部の保有水について水質検査をした結果、VOCが検出された。

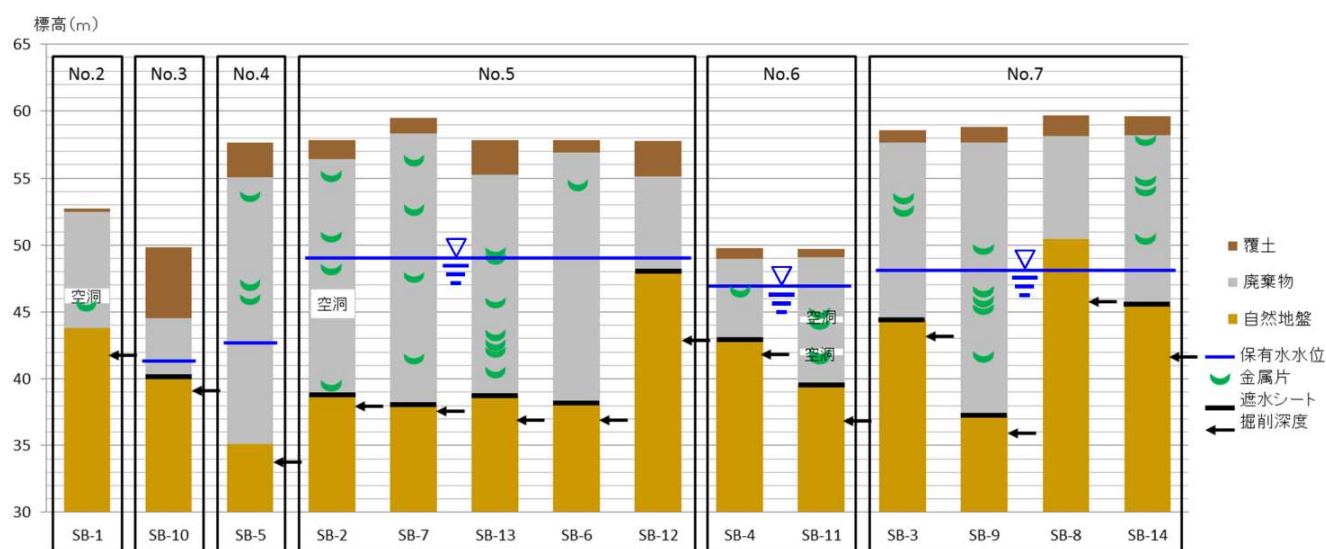
【参考 2】保有水分析結果概要

地点 番号	主なVOC濃度 (mg/L)							
	トリクロ エチレン	ジクロロ メタン	1,2- ジクロロ エタン	シス-1,2- ジクロロ エチレン	1,1,1- トリクロロ エタン	ベンゼン	1,4- ジオキサン	塩化 ビニル モノマー
SB-13	<0.001	<0.02	<0.004	<0.04	<0.001	1.1	0.27	0.14
SB-14	0.020	1.3	0.33	0.16	0.014	3.1	84	0.0005

(3) 遮水シートについて

- No. 2 処分場の SB-1、No. 4 処分場の SB-5 及び No. 7 処分場の SB-8 では、ボーリングコア中に遮水シートを確認できなかった。
- 今回のボーリング調査結果、処分場の工事状況写真及び保有水の存在状況から、No. 3 から No. 7 処分場には、遮水シートが敷設されており、遮水機能も一定程度確保されていると判断した。

【参考 3】ボーリング柱状図概要



4 対応

これらの調査結果を踏まえ、26年度には次の事業を実施することとしている。

(1) 処分場保有水対策

保有水が確認された処分場のうち、まず、No. 5 処分場に揚水井戸を設置するとともに、その汲み上げ効果を確認するための観測井戸を設置し、保有水の水位や水質の変化を確認する。

- 観測井戸設置 4 箇所

(2) 追加ボーリング調査

容器に入った油状物質が確認された No. 2 処分場において、容器等の分布状況を詳細に確認するため、追加のボーリング調査を実施する。

- ボーリング本数 10 本程度

事業計画図

揚水井戸(案)

No. 5処分場

No. 2処分場

No. 1処分場

No. 7処分場

No. 4処分場

No. 6処分場

No. 10処分場

凡例



H18~19 掘削調査範囲



ボーリング調査単位
(15mグリッド)



H26 ボーリング予定地点



H26 観測井戸設置予定地点



H25 ボーリング調査実施地点



H17 ボーリング調査実施地点